

A0251
0系新幹線（大窓）1・2次車「こだま号」基本8両セット

主な走行都市



品番	A0251					
JANコード	103005					
商品名	0系新幹線(大窓)1・2次車「こだま号」基本8両セット					
商品系形態	塗装済完成品					
素材	ABS樹脂					
予価	18,600円					
発売予定	2001年12月					
規格	N					
カートン内入数	12					
実車	昭和39年10月東京－新大阪間の東海道新幹線開業に伴い登場したのが0系新幹線である。最高速度210キロ運転の為に流線型車体となり、標準軌道の採用に伴い車体幅・車体長の大型化がなされている。高速運転のために全電動車方式が採用された。0系新幹線は昭和39年から昭和61年まで3,216両が製造され、最大2,336両が同時に存在した。昭和51年から登場したグループは客室窓が小型化されたことが目立つ。平成11年には東海道新幹線から引退し、山陽新幹線で4・6両のミニ編成に組み替えられ、現在も活躍をしている。					
商品	東京オリンピック年、昭和39年日本初の新幹線として開業当初から走り始めた0系の 大窓タイプを製品化 1・2次車のN1編成を再現 別売のA0255 4両増結セットを組み込むと12両フル編成が可能 新幹線用オリジナルカプラーを採用し、R282カーブも通過可能 動力にはフライホイールを採用し、スムーズな走行性能を実現 パンタグラフは折り畳み可能 行先札・車番・ロゴ印刷済 黒染車輪採用 0系の歴史を綴った特別パンフレットが付属					
付属品	行先ステッカー 特別パンフレット					
パッケージ	8両用ブックケース(白色)					
オプション対応	トミックス 室内灯#0751,#0781					
関連商品	A0252 0系新幹線(大窓)18次車「ひかり号」基本8両セット A0255 0系新幹線(大窓)1・2次車「こだま号」増結4両セット A0256 0系新幹線(大窓)18次車「ひかり号」増結8両セット A0259 0系新幹線(大窓)1・2次車開業一番列車「ひかり号」12両木箱セット					
編成	1号車	21-1	ヘッドライト・テールライト	5号車	35-9	モーター車
	2号車	26-1	パンタグラフ	8号車	16-1	パンタグラフ
	3号車	25-9		11号車	25-2	
	4号車	26-209	パンタグラフ	12号車	22-1	ヘッドライト・テールライト・パンタグラフ
特記事項	JR東海・JR西日本商品化承認済					